



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
 コード番号 8242 URL <http://www.h2o-retailing.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 篤  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森 忠嗣  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日

TEL 06-6365-8120  
 2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	450,710	1.4	6,320	3.6	6,574	1.9	1,463	950.0
2019年3月期第2四半期	444,408	2.9	6,100	12.6	6,449	23.2	139	97.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,696百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 13百万円 ( 99.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	11.84	11.76
2019年3月期第2四半期	1.13	1.12

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	655,281	279,877	42.5
2019年3月期	663,335	279,603	42.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 278,619百万円 2019年3月期 278,364百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		20.00	40.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	939,200	1.3	18,000	11.9	18,200	14.9	7,000	223.7	56.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	125,201,396 株	2019年3月期	125,201,396 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,585,375 株	2019年3月期	1,609,297 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	123,609,468 株	2019年3月期2Q	123,505,328 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5'5.「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の状況	2
2. 貸借対照表の状況	4
3. 設備投資の状況	4
4. キャッシュ・フローの状況	4
5. 今後の見通し	5
6. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報)	13
7. 補足情報	15

## 1. 経営成績の状況

(百万円)

	17/09累計 金額	18/09累計 金額	19/09累計				
			金額	前年比	増減	予想比	増減
百貨店事業	206,487	209,159	218,445	104.4%	+ 9,286	100.9%	+ 2,018
神戸・高槻事業	-	19,831	21,224	107.0%	+ 1,393	99.6%	△ 79
百貨店事業計	206,487	228,990	239,670	104.7%	+ 10,680	100.8%	+ 1,939
食品事業	193,807	183,911	178,035	96.8%	△ 5,876	93.8%	△ 11,748
不動産事業	5,678	4,569	4,152	90.9%	△ 416	89.2%	△ 504
その他事業	26,026	26,937	28,851	107.1%	+ 1,914	109.2%	+ 2,424
売上高	432,000	444,408	450,710	101.4%	+ 6,301	98.3%	△ 7,889
百貨店事業	6,136	5,762	6,549	113.7%	+ 786	109.2%	+ 549
神戸・高槻事業	-	△ 142	△ 192	-	△ 49	-	△ 112
百貨店事業計	6,136	5,619	6,356	113.1%	+ 737	107.4%	+ 436
食品事業	△ 1,077	△ 1,008	△ 1,701	-	△ 692	-	△ 1,031
不動産事業	2,790	2,299	2,176	94.7%	△ 122	101.2%	+ 26
その他事業	2,612	3,773	3,264	86.5%	△ 508	130.6%	+ 764
調整額	△ 3,483	△ 4,583	△ 3,776	-	+ 807	-	+ 73
営業利益	6,978	6,100	6,320	103.6%	+ 219	104.5%	+ 270
経常利益	8,393	6,449	6,574	101.9%	+ 125	102.7%	+ 174
特別利益	3,128	267	857	319.9%	+ 589		
特別損失	1,547	4,317	2,630	60.9%	△ 1,687		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,739	139	1,463	1050.0%	+ 1,324	41.8%	△ 2,036

※セグメント別売上高は外部顧客への売上高

※2019年10月1日付でそごう神戸店及び西武高槻店の事業を株式会社エイチ・ツー・オー アセットマネジメントから株式会社阪急阪神百貨店へ移管し、屋号をそごう神戸店から「神戸阪急」、西武高槻店から「高槻阪急」へと変更したため、今年度より神戸・高槻事業を百貨店事業に統合。

### ▶売上高

食品事業の売上高は、再編に伴う売場面積減少や天候不順の影響により、前年同期を下回りましたが、百貨店事業において、国内需要・インバウンド需要がともに堅調に推移したことに加えて、前年同期に相次いだ自然災害が今年は少なかったことや、9月の消費税増税前の駆け込み需要が寄与し、前年同期を上回ったことにより、連結売上高は前年同期比101.4%となりました。

### ▶営業利益および経常利益

売上高が伸長した百貨店事業が増益となったことなどから、営業利益は前年同期比103.6%、経常利益は前年同期比101.9%となりました。百貨店事業とその他事業が予想を上回ったことから、営業利益、経常利益ともに想定を上回りました。

(百貨店事業)

2019年10月1日付でそごう神戸店及び西武高槻店の事業を株式会社エイチ・ツー・オー アセットマネジメントから株式会社阪急阪神百貨店へ移管し、屋号をそごう神戸店から「神戸阪急」、西武高槻店から「高槻阪急」へと変更したため、今年度より神戸・高槻事業を百貨店事業に統合しております。

阪急本店の売上高は前年同期比108.5%と伸長いたしました。国内需要・インバウンド需要がともに堅調に推移したことに加えて、前年同期に相次いだ自然災害が今年は少なかったことや、9月の消費税増税前の駆け込み需要が寄与いたしました。阪神梅田本店は、2018年6月の建て替え第I期棟開業景気の反動などにより、売上高前年同期比は95.8%となりました。そごう神戸店において10月の屋号変更に先駆けて実施した食品売場の改装などにより、神戸・高槻事業の売上高は前年を上回りました。

以上の結果、百貨店事業の売上高前年同期比は104.7%となりました。また、営業利益は前年同期に対して7億円の増益となりました。

(食品事業)

食品事業は、前年同期に対して減収減益となりました。

イズミヤ株式会社では、建て替え店舗や新店が売上高増加に寄与しましたが、再編を進めているGMS店舗において非食品部門の売场面積が減少していることに加えて、第2四半期期間の不安定な天候の影響などを受けたことから、売上高前年同期比98.5%、営業利益は前年同期に対して6億円の減益となりました。

株式会社阪急オアシスは、価格政策の見直しおよび経費削減の取り組みを進めましたが、売上高が前年同期比94.7%、営業利益は前年同期に対して1億円の減益となりました。

(不動産事業)

千里中央地区の商業施設・セルシーの信託受益者である合同会社サントルにおいて、再開発に伴い空き区画が増加していることにより、減収となりました。また、阪急商業開発において、カナート洛北の増床工事の費用の発生などにより、前年同期に対して減益となりました。

(その他事業)

今年度より連結対象となった株式会社アズナス、株式会社阪急フレッズなどが売上高の増加に寄与いたしました。ビジネスホテルを運営する株式会社大井開発や、商業施設の店舗内装設計・施工を担う株式会社阪急建築などが増益となりましたが、子会社からの配当金が減少したエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社が減益となったことなどから、その他事業全体では前年同期に対して減益となりました。

▶親会社株主に帰属する四半期純利益

イズミヤ泉佐野店の売却などにより、特別利益を8億円計上いたしました。特別損失については、イズミヤの閉店店舗売却に伴う固定資産売却損を8億円、不採算事業の撤退に伴う事業整理損を7億円計上するなど、合計26億円を計上いたしました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億円、前年同期に対して13億円の増加となりました。

主な特別損益の状況

(百万円)

内容	金額	連結損益計算書上の表示
特別利益	857	(対前年+589百万円)
イズミヤ泉佐野店 土地建物売却	839	固定資産売却益
特別損失	2,630	(対前年△1,687百万円)
イズミヤ大東店 土地建物売却	863	固定資産売却損
阪急キッチンエール九州 事業終了	407	事業整理損
ウイズシステム 事業譲渡	241	事業整理損
千里セルシー 建て替え関連	194	店舗等閉鎖損失
そごう神戸店 看板撤去費用	127	固定資産除却損

## 2. 貸借対照表の状況

	(百万円)		
	18/09末	19/03末	19/09末
現金及び預金	30,821	55,229	34,291
受取手形 及び売掛金	43,531	49,886	52,816
棚卸資産	33,965	33,920	32,836
流動資産合計	119,033	150,003	132,596
固定資産合計	508,585	513,331	522,684
資産合計	627,619	663,335	655,281
支払手形 及び買掛金	56,124	59,732	58,165
借入金及び社債	142,749	164,920	155,946
負債合計	349,205	383,731	375,403
株主資本	240,171	239,755	238,777
純資産合計	278,414	279,603	279,877
負債純資産合計	627,619	663,335	655,281

## 3. 設備投資の状況

	(百万円)	
	金額	主な内容
百貨店事業	3,040	阪急本店、阪急メゾ東京、神戸阪急
食品事業	3,443	イズミヤ店舗建て替え工事、阪急オアシス新規出店
不動産事業	5,153	イズミヤ店舗建て替え工事、カナート洛北増床工事
その他事業	3,938	エイチ・ツー・オー リテイリング(株)システム投資
調整額	△ 44	
合計	15,531	

## 4. キャッシュ・フローの状況

	(百万円)		
主な項目	17/09	18/09	19/09
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,060	△ 1,075	5,978
税金等調整前当期純利益	9,974	2,399	4,801
減価償却費	7,827	8,384	8,700
売上債権の増減額(△は増加)	2,369	3,341	△ 3,064
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 3,686	△ 6,140	△ 1,272
法人税等の支払額	△ 3,935	△ 6,115	△ 3,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,813	△ 25,544	△ 17,453
有形固定資産の取得による支出	△ 9,483	△ 20,594	△ 14,522
無形固定資産の取得による支出	△ 2,456	△ 2,100	△ 3,808
事業譲受による支出	-	-	△ 648
有形固定資産の売却による収入	2,677	1,060	3,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,675	△ 9,639	△ 9,244
短期借入金の純増減額	△ 2,000	-	11,000
長期借入金の返済による支出	△ 4,876	△ 6,749	△ 20,137
リース債務の返済による支出	△ 426	△ 418	△ 475
配当金の支払額	△ 2,469	△ 2,469	△ 2,471
営業CF+投資CF+財務CF	△ 5,428	△ 36,259	△ 20,720
現金及び現金同等物の期末残高	78,263	30,821	34,291

## 5. 今後の見通し

### 連結業績予想

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	実績	前年比	予想	前年比	予想	前年比
百貨店事業	239,670	104.7%	263,066	99.0%	502,737	101.6%
食品事業	178,035	96.8%	184,391	100.4%	362,426	98.6%
不動産事業	4,152	90.9%	5,170	124.1%	9,323	106.7%
その他事業	28,851	107.1%	35,861	123.6%	64,713	115.7%
売上高	450,710	101.4%	488,489	101.2%	939,200	101.3%
百貨店事業	6,356	113.1%	9,163	74.7%	15,520	86.8%
食品事業	△ 1,701	-	691	121.3%	△ 1,010	-
不動産事業	2,176	94.7%	2,083	105.1%	4,260	99.5%
その他事業	3,264	86.5%	1,145	91.1%	4,410	87.7%
調整額	△ 3,776	-	△ 1,403	-	△ 5,179	-
営業利益	6,320	103.6%	11,680	81.6%	18,000	88.1%
経常利益	6,574	101.9%	11,625	77.9%	18,200	85.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,463	1,050.0%	5,537	273.7%	7,000	323.7%

※セグメント別売上高は外部顧客への売上高

百貨店事業は、年度末の阪急本店の大型改装や、神戸阪急および高槻阪急の立ち上げなど先行投資に伴う費用の増加に加えて、消費増税前の駆け込み需要に対する反動減の影響もあり、第3・4四半期においては減益を見込んでおります。

食品事業は、第3・4四半期において、新店や建て替え店舗の寄与、食品製造会社の運営効率化による増収増益を見込んでおります。

以上のようなことから、連結の通期業績は、概ね期初の見込み通り、売上高は増収、営業利益及び経常利益は減益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益を予想しております。

### 設備投資の予想

(百万円)

	第1・2四半期	第3・4四半期	通期
	実績	予想	予想
百貨店事業	3,040	4,678	7,718
食品事業	3,443	1,956	5,399
不動産事業	5,153	3,709	8,863
その他事業	3,938	5,627	9,566
調整額	△ 44	-	△ 44
合計	15,531	15,972	31,503

2019年度の設備投資については、阪急うめだ本店他、都心店の改装、神戸阪急及び高槻阪急の立ち上げに伴う売場改装と阪急阪神百貨店への統合のためのシステム構築、カナート洛北の増床、食品事業の共通営業システム構築、消費税増税に伴う軽減税率対応のシステム構築などを予定しております。

## 主要各社の業績予想

### (株)阪急阪神百貨店の業績予想

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	実績	前年比	予想	前年比	予想	前年比
売上高	218,344	104.4%	261,531	107.8%	479,875	106.2%
営業利益	6,634	114.4%	9,080	77.2%	15,714	89.5%

※第3四半期より神戸阪急および高槻阪急の2店舗の実績を含む

### (株)阪急阪神百貨店の店別取扱高予想

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	実績	前年比	予想	前年比	予想	前年比
阪急本店 ※1	124,293	108.5%	137,439	100.9%	261,733	104.4%
阪神梅田本店	23,789	95.8%	25,513	96.1%	49,302	95.9%
千里阪急	7,443	99.6%	8,259	96.9%	15,702	98.1%
高槻阪急 ※2	-	-	10,326	-	10,326	-
川西阪急	7,301	99.0%	7,895	95.1%	15,196	96.9%
宝塚阪急	3,622	100.6%	3,845	97.0%	7,467	98.7%
西宮阪急	12,329	104.0%	13,896	100.0%	26,225	101.9%
三田阪急	644	101.4%	737	97.4%	1,381	99.2%
神戸阪急 ※2	-	-	19,140	-	19,140	-
博多阪急	24,662	102.4%	27,102	98.4%	51,764	100.3%
阪急メンズ東京	6,179	93.5%	7,930	104.2%	14,109	99.2%
大井食品館	2,143	101.0%	2,357	98.4%	4,500	99.6%
都筑阪急	2,149	98.2%	2,237	86.5%	4,386	91.8%
あまがさき阪神	1,395	101.0%	1,574	99.7%	2,969	100.3%
阪神・にしのみや	2,139	100.7%	2,335	95.9%	4,474	98.2%
阪神・御影	250	99.4%	269	96.3%	519	97.8%
支店計	70,261	100.8%	107,902	135.1%	178,163	119.1%
取扱高 全店計	218,344	104.4%	270,854	111.6%	489,199	108.3%

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 2019年10月5日営業開始。百貨店の売上高と専門店の取扱高の合計。

### イズミヤ(株)の業績予想

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	実績	前年比	予想	前年比	予想	前年比
売上高	106,924	98.5%	109,013	99.3%	215,938	98.9%
営業利益	△ 1,591	-	△ 199	-	△ 1,791	-

### (株)阪急オアシスの業績予想

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	実績	前年比	予想	前年比	予想	前年比
売上高	53,958	94.7%	56,268	101.2%	110,226	97.9%
営業利益	△ 237	-	395	67.6%	157	34.7%

6. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,229	34,291
受取手形及び売掛金	49,886	52,816
商品及び製品	31,600	30,393
仕掛品	329	796
原材料及び貯蔵品	1,990	1,646
未収入金	6,778	7,351
その他	4,643	5,735
貸倒引当金	△454	△434
流動資産合計	150,003	132,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	115,608	124,616
機械装置及び運搬具（純額）	3,420	3,361
土地	147,281	144,553
建設仮勘定	7,666	6,208
その他（純額）	10,882	11,402
有形固定資産合計	284,860	290,142
無形固定資産		
のれん	4,076	3,873
その他	14,685	16,078
無形固定資産合計	18,762	19,952
投資その他の資産		
投資有価証券	121,149	124,297
長期貸付金	4,571	6,077
差入保証金	72,290	71,807
退職給付に係る資産	-	90
繰延税金資産	11,942	11,156
その他	2,683	2,102
貸倒引当金	△2,928	△2,942
投資その他の資産合計	209,709	212,589
固定資産合計	513,331	522,684
資産合計	663,335	655,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,732	58,165
短期借入金	8,000	19,000
1年内返済予定の長期借入金	20,201	400
未払金	19,655	17,626
リース債務	749	956
未払法人税等	4,151	2,846
商品券	29,676	27,422
賞与引当金	5,018	4,722
役員賞与引当金	156	99
店舗等閉鎖損失引当金	967	464
ポイント引当金	1,823	2,227
資産除去債務	68	66
その他	23,888	25,387
流動負債合計	174,092	159,387
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	116,718	116,546
繰延税金負債	26,152	27,217
再評価に係る繰延税金負債	266	266
役員退職慰労引当金	221	196
商品券等回収引当金	4,020	4,147
退職給付に係る負債	16,827	15,681
長期末払金	621	571
リース債務	8,686	14,324
長期預り保証金	9,820	10,020
資産除去債務	2,755	3,896
その他	3,548	3,146
固定負債合計	209,639	216,016
負債合計	383,731	375,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	92,675	92,660
利益剰余金	132,278	131,270
自己株式	△2,995	△2,950
株主資本合計	239,755	238,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,864	44,226
土地再評価差額金	124	124
為替換算調整勘定	△788	△1,138
退職給付に係る調整累計額	△3,591	△3,371
その他の包括利益累計額合計	38,608	39,841
新株予約権	1,235	1,254
非支配株主持分	4	4
純資産合計	279,603	279,877
負債純資産合計	663,335	655,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	444,408	450,710
売上原価	316,149	321,706
売上総利益	128,259	129,004
販売費及び一般管理費	122,158	122,683
営業利益	6,100	6,320
営業外収益		
受取利息	45	78
受取配当金	780	735
諸債務整理益	713	737
その他	452	531
営業外収益合計	1,992	2,083
営業外費用		
支払利息	451	381
商品券等回収引当金繰入額	561	581
その他	630	866
営業外費用合計	1,643	1,829
経常利益	6,449	6,574
特別利益		
固定資産売却益	-	840
負ののれん発生益	-	17
受取保険金	267	-
特別利益合計	267	857
特別損失		
固定資産売却損	-	863
事業整理損	545	764
固定資産除却損	595	622
店舗等閉鎖損失	1,039	367
減損損失	305	11
進路設計支援費用	673	-
災害による損失	665	-
新店舗開業費用	493	-
特別損失合計	4,317	2,630
税金等調整前四半期純利益	2,399	4,801
法人税、住民税及び事業税	772	2,192
法人税等調整額	1,487	1,145
法人税等合計	2,259	3,337
四半期純利益	139	1,463
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	139	1,463

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	139	1,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	1,362
繰延ヘッジ損益	16	-
為替換算調整勘定	△61	△54
退職給付に係る調整額	125	220
持分法適用会社に対する持分相当額	△374	△295
その他の包括利益合計	△125	1,232
四半期包括利益	13	2,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13	2,696
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,399	4,801
減価償却費	8,384	8,700
減損損失	305	11
店舗等閉鎖損失	66	40
のれん償却額	285	294
貸倒引当金の増減額(△は減少)	162	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△211	△299
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△59	△57
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△995	△1,134
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18	△19
商品券等回収引当金の増減額(△は減少)	170	127
店舗等閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△73	△503
ポイント引当金の増減額(△は減少)	468	405
受取利息及び受取配当金	△825	△814
支払利息	451	381
受取保険金	-	△19
災害損失	-	2
持分法による投資損益(△は益)	177	134
固定資産売却損益(△は益)	-	23
固定資産除却損	31	267
事業整理損	545	740
売上債権の増減額(△は増加)	3,341	△3,064
たな卸資産の増減額(△は増加)	929	1,401
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,140	△1,272
未払消費税等の増減額(△は減少)	△335	154
商品券の増減額(△は減少)	△3,668	△2,248
前受金の増減額(△は減少)	25	2,559
その他	△769	△1,623
小計	4,645	8,983
利息及び配当金の受取額	851	772
利息の支払額	△457	△373
法人税等の支払額	△6,115	△3,374
保険金の受取額	-	19
災害損失の支払額	-	△49
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,075	5,978

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△20,594	△14,522
有形固定資産の売却による収入	1,060	3,538
無形固定資産の取得による支出	△2,100	△3,808
無形固定資産の売却による収入	-	0
資産除去債務の履行による支出	△306	△80
投資有価証券の取得による支出	△18	△1,166
有価証券及び投資有価証券の 売却及び償還による収入	0	-
長期貸付けによる支出	△145	△1,622
長期貸付金の回収による収入	52	95
差入保証金の差入による支出	△5,937	△458
差入保証金の回収による収入	2,490	1,242
事業譲渡による支出	△45	-
事業譲受による支出	-	△648
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の売却による支出	-	△23
その他	-	1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△25,544</b>	<b>△17,453</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	11,000
長期借入れによる収入	-	98
長期借入金の返済による支出	△6,749	△20,137
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△2,469	△2,471
リース債務の返済による支出	△418	△475
セール・アンド・リースバックによる収入	-	2,742
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△9,639</b>	<b>△9,244</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69	△217
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△36,329</b>	<b>△20,938</b>
現金及び現金同等物の期首残高	67,150	55,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,821	34,291

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	不動産 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	228,990	183,911	4,569	26,937	444,408	—	444,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	139	2,390	8,699	14,453	25,682	△25,682	—
計	229,129	186,301	13,269	41,390	470,091	△25,682	444,408
セグメント利益又は 損失(△)	5,619	△1,008	2,299	3,773	10,683	△4,583	6,100

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,583百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	不動産 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	239,670	178,035	4,152	28,851	450,710	—	450,710
セグメント間の内部 売上高又は振替高	141	2,400	8,555	14,019	25,116	△25,116	—
計	239,812	180,435	12,707	42,871	475,826	△25,116	450,710
セグメント利益又は 損失(△)	6,356	△1,701	2,176	3,264	10,096	△3,776	6,320

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,776百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「百貨店事業」、「神戸・高槻事業」、「食品事業」、「不動産事業」及び「その他事業」の5区分から、「百貨店事業」と「神戸・高槻事業」を統合した4区分に変更しております。この変更は、2019年10月1日付でそごう神戸店・西武高槻店の事業を株式会社阪急阪神百貨店へ移管することに伴うものです。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

## 7. 補足情報

### 連結

#### 販売費及び一般管理費の状況

科目	(百万円)		
	金額	前年比	増減
人件費	47,302	99.5%	△ 253
賃借料	19,964	101.4%	+ 277
宣伝装飾費	6,240	89.0%	△ 774
減価償却費	8,237	104.3%	+ 337
委託作業費	9,956	103.9%	+ 376
販売手数料	6,350	105.7%	+ 342
運搬費	7,672	100.8%	+ 57
その他	16,958	101.0%	+ 161
販売費及び一般管理費	122,683	100.4%	+ 524

#### 営業外損益の状況

				(百万円)			
科目	金額	前年比	増減	科目	金額	前年比	増減
営業外収益	2,083	104.6%	+ 91	営業外費用	1,829	111.3%	+ 185
受取利息	78	173.4%	+ 33	支払利息	381	84.4%	△ 70
受取配当金	735	94.3%	△ 44	商品券等回収 引当金繰入額	581	103.6%	+ 20
諸債務整理益	737	103.3%	+ 23	その他	866	137.4%	+ 235
その他	531	117.4%	+ 79				

#### 特別損益の状況

			(百万円)
科目	金額	主な内容	
特別利益	857	(対前年+589百万円)	
固定資産売却益	840	イズミヤ泉佐野店	
負ののれん発生益	17	株式会社アズナスの取得	
特別損失	2,630	(対前年△1,687百万円)	
固定資産売却損	863	イズミヤ大東店	
事業整理損	764	キッチンエール九州事業終了、ウイズシステム事業譲渡	
固定資産除却損	622	百貨店事業、イズミヤ	
店舗等閉鎖損失	367	セルシー建て替え、イズミヤ店舗再編	
減損損失	11		

## (株)阪急阪神百貨店

### 経営成績

(百万円)					
	金額	前年比	増減	予想	増減
売上高	218,344	104.4%	+ 9,253	101.0%	+ 2,194
売上総利益	52,315	103.0%	+ 1,544		
(売上総利益率)	23.96%	-	△0.32pt		
その他の営業収入	316	112.8%	+ 35		
販売費及び一般管理費	45,996	101.6%	+ 745		
(販管费率)	21.07%	-	△0.58pt		
営業利益	6,634	114.4%	+ 834	110.6%	+ 634
(営業利益率)	3.04%	-	+0.26pt	-	+0.26pt

- ▶阪急本店の免税売上高前年同期比114%、構成比14%
- ▶阪神梅田本店は、前年の建て替え前の売りつくしバーゲン、建て替え第Ⅰ期棟開業景気の反動により減収
- ▶減価償却費や委託作業費などの経費増加

### 店別売上高、入店客数

(百万円、千人、㎡)					
	金額	前年比	入店客数	前年比	営業面積
阪急本店 ※1	124,293	108.5%	23,723	97.8%	98,733
阪神梅田本店	23,789	95.8%	15,482	92.5%	27,811
千里阪急	7,443	99.6%	2,397	100.8%	13,902
川西阪急	7,301	99.0%	2,929	100.1%	15,528
宝塚阪急	3,622	100.6%	※2 -	-	6,148
西宮阪急	12,329	104.0%	6,607	102.5%	25,099
三田阪急	644	101.4%	※2 -	-	2,100
博多阪急	24,662	102.4%	13,626	99.1%	41,835
阪急メンズ東京	6,179	93.5%	1,307	111.0%	11,425
大井食品館	2,143	101.0%	2,652	98.8%	2,042
都筑阪急	2,149	98.2%	1,791	98.8%	6,736
あまがさき阪神	1,395	101.0%	※2 -	-	2,855
阪神・にしのみや	2,139	100.7%	2,158	108.5%	4,998
阪神・御影	250	99.4%	2,435	99.9%	804
支店計	70,261	100.8%	35,905	100.8%	133,471
全店計	218,344	104.4%	75,112	98.0%	260,016

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 入店客数計測器を設置していないため

## 商品別売上高

(百万円)

	金額	前年比	構成比
紳士服・洋品	18,443	104.5%	8.4%
婦人服・洋品	29,214	100.5%	13.4%
子供服・洋品	4,737	101.7%	2.2%
その他の衣料品	5,342	97.1%	2.4%
衣料品	57,738	101.5%	26.4%
身の回り品	43,983	108.4%	20.1%
家庭用品	6,720	99.6%	3.1%
食料品	58,629	100.8%	26.9%
食堂・喫茶	4,978	101.1%	2.3%
雑貨	45,022	112.4%	20.6%
サービス	1,252	117.4%	0.6%
その他	19	2.8%	0.0%
合計	218,344	104.4%	100.0%

## 月次売上高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
阪急本店 ※1	104.6%	100.4%	107.6%	103.8%	106.7%	129.5%
阪神梅田本店	84.9%	100.5%	79.1%	95.9%	96.4%	121.7%
支店 計	101.2%	99.7%	102.0%	97.9%	97.8%	107.2%
全店 計	101.0%	100.2%	101.8%	101.0%	102.5%	121.3%
阪神本店除く全店計	103.4%	100.1%	105.4%	—	—	—

※1. 阪急メンズ大阪を含む

## イズミヤ(株)

## 経営成績

(百万円)						既存店売上高	
	金額	前年比	増減	予想比	増減		前年比
売上高	106,924	98.5%	△ 1,581	95.8%	△ 4,713	食料品	94.2%
売上総利益	27,633	95.9%	△ 1,190			衣料品	95.3%
(売上総利益率)	25.84%	-	△0.72pt			住居関連品	98.3%
その他の営業収入	7,377	100.6%	+ 43			合計	95.0%
販売費及び 一般管理費	36,602	98.6%	△ 520			店舗数	(店)
(販管费率)	34.23%	-	+0.02pt				店舗数
営業利益	△ 1,591	-	△ 626	-	△ 750	合計	85
(営業利益率)	-	-	-	-	-	(前年差)	+ 2

## 開閉店の状況

開店	和泉府中店(大阪府)、新中条店(大阪府)
閉店	東寝屋川店(大阪府)、泉佐野店(大阪府)

## 月次売上高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全店	96.4%	99.5%	99.6%	90.4%	97.9%	101.1%
既存店	94.6%	97.2%	96.5%	87.9%	95.7%	99.2%

## (株)阪急オアシス

## 経営成績

	(百万円)					既存店売上高	
	金額	前年比	増減	予想比	増減	前年比	
売上高	53,958	94.7%	△ 3,027	93.5%	△ 3,743	合計	94.0%
売上総利益	14,104	98.2%	△ 255			店舗数	(店)
(売上総利益率)	26.14%	-	+0.94pt				店舗数
その他の営業収入	3,424	101.6%	+ 52			合計	77
販売費及び 一般管理費	17,766	99.5%	△ 95			(前年差)	+ 1
(販管費率)	32.93%	-	+ 1.58pt			※休業中の茨木東奈良店を除く	
営業利益	△ 237	-	△ 107	-	△ 208		
(営業利益率)	-	-	-	-	-		

## 開閉店の状況

開店	福島ふくまる通り57店(大阪府)、キセラ川西店(兵庫県)
閉店	山下店(兵庫県)

## 月次売上高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全店	94.4%	93.6%	94.7%	92.7%	95.6%	97.2%
既存店	97.0%	94.9%	94.1%	91.6%	92.2%	94.0%